

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名	体育理論・体育実技		教員氏名	中山 恭一	
科目ナンバー	I-2-2				
学年	2年		開講学期	前期	
授業形態	演習		単位数	2単位	
必修・選択	保育士・幼児必修		実務経験	中学・高等学校講師(保健体育科)・養護施設指導員 特別支援学校講師・全日制普通高等学校肢体不自由児介助	12年
テーマ	現代社会の健康観を学ぶと共に、健康寿命を延ばすことに寄与すると思われる運動方法について理解を深める				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・体育理論では、健康、体力に関する概念を把握し、生涯に渡って自ら健康寿命の延伸に寄与する取り組みが行えるための「最新のスポーツ科学の知見」について学ぶ。 ・体育実技では、自分の体力を把握するとともに、グループワーク等を取り入れてスポーツを楽しみ、学生自らが基礎体力を養える援助をおこなう。 ・体力の向上と保育現場での活用を目的に、準備運動を兼ねた「縄跳び」等を取り入れる。 				
授業の到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1.健康寿命の延伸に寄与する生活習慣の改善と同時に、WHO（世界保健機関）が提唱している「Active Living（生き生きとした生活を！）」を、自ら設計・実践できる。 2.運動やスポーツを通して自己体力の現況を認識し、またお互いを認め合いコミュニケーションスキルを高め合いながら、心もからだも良い状態に維持・向上させる習慣を実践できる。 3.自分の健康を育むと同時に、他者の健康も守れるための知識を説明できる。 				
テキスト	なし 適時配布する				
参考書	<p>「幼少年のための運動遊び・体育指導」一般社団法人幼少年体育指導士会編 杏林書院、「脳を鍛えるには運動しかない」ジョン・レイティ著 NHK出版、「発達障害の子の脳をきたえる 笑顔はじけるスパーク運動療育」清水貴子著 ジョン・レイティ監修 小学館、「子どものからだ・心白書」子どものからだと心・連絡会議 ブックハウスHD、ダイエットアプリ「FiNC(フィンク)」無料、食事管理アプリ「あすけん」無料</p>				
往還型授業(双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○
	ICT(Googleクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
その他: 特記事項なし					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験・筆記試験	0	定期試験は実施しない		
	授業内課題・発表等	100	「体育理論」理解度確認(内容:「胸骨圧迫をメインとした心肺蘇生法に関する一次救命処置の理論・技術について」):80%、「体育実技」課題達成(毎回の確認テストを実施:各自が到達目標を意識し取り組んでいるか):60%		
	参加度・学習態度等		「体育理論」授業取り組み(課題の理解および主体的に学ぶ姿勢):20%、「体育実技」授業取り組み(授業に臨む準備が良好であるか、コミュニケーションを取りながら行われているか等):40%		
その他	◎半期毎に上記の基準で評価を行う。*(1)体育実技の際、見学などの理由で実技に参加しなかった場合は失点の対象になる。*(2)体育実技の服装はスポーツウエア・靴は運動用に限定し、それ以外の着用は安全上の観点から参加を認めない。*(3)通年として実技及び理論それぞれの出席回数が2/3に満たない場合、失格となる。*(4)授業前は十分な睡眠と適切な食事をとり、体調管理に努めること。				
再試験	行う	行なわない場合の理由			

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	授業概要についてのガイダンス、現代の健康観について	
	授業外学習	◎[子ども・健康・教育(保育)・スポーツ全般・福祉]等をキーワードに、新聞・雑誌&インターネット等を利用し情報を収集を行い、自身の身の回りの状況に目を向ける。	55分
第2回	テーマ 内容	ソフトボール1. 個人技術の確認と発展 (グループワーク)	
	授業外学習	◎投げる・打つ・取るの基礎技術を探る。ソフトボールのルールを確認し試合映像を鑑賞する。	90分
第3回	テーマ 内容	ソフトボール2. チーム戦術 (グループワーク)	
	授業外学習	◎各個人&各チーム毎の課題を見付け出し取り組む。ソフトボール又は野球の試合映像を鑑賞する。	90分
第4回	テーマ 内容	ソフトボール3. 簡易ゲーム (グループワーク)	
	授業外学習	◎各個人&各チーム毎の課題を見付け出し取り組む。ソフトボール又は野球の試合映像を鑑賞する。	90分
第5回	テーマ 内容	ソフトボール4. 正式のルールのもと試合を楽しむ(決勝リーグ) (グループワーク)	
	授業外学習	◎生涯スポーツに発展する手立てを担うことを目指す。ソフトボール又は野球の試合映像を鑑賞する。	90分
第6回	テーマ 内容	卓球1. 基本技能の確認(グループワーク)	
	授業外学習	◎卓球のルールを事前に理解しておく。◎卓球の試合映像を鑑賞する。◎各個人の課題を見付け出し取り組む。	90分
第7回	テーマ 内容	卓球2. シングルス&ダブルスのゲーム戦術, 簡易ゲーム (グループワーク)	
	授業外学習	◎卓球の試合映像を鑑賞する。◎各個人の課題を見付け出し取り組む。	90分
第8回	テーマ 内容	卓球3. ダブルス団体戦(予選リーグ) (グループワーク)	
	授業外学習	◎卓球の試合映像を鑑賞する。◎各個人の課題を見付け出し取り組む。	90分
第9回	テーマ 内容	卓球4. ダブルス団体戦(決勝リーグ) (グループワーク)	
	授業外学習	◎生涯スポーツに発展する手立てを担うことを目指し取り組む。◎卓球の試合映像を鑑賞する。◎各個人の課題を見付け出し取り組む。	90分

第10回	テーマ 内容	心肺蘇生法の基礎知識・基礎技術を学ぶ（体育理論1）	
	授業外学習	◎各自事前に心肺蘇生における各関係団体の実施している講習を修了していることが望ましい。インターネット等を利用し心肺蘇生法の情報を収集する。◎[子ども・健康・教育(保育)・スポーツ全般・福祉]等をキーワードに、新聞・雑誌&インターネット等を利用し情報収集を行い、自身の身の回りの状況に目を向ける。	55分
第11回	テーマ 内容	胸骨圧迫をメインとした心肺蘇生教育の知識と技術における重要事項の確認(体育理論2)	
	授業外学習	◎各自事前に心肺蘇生における各関係団体の実施している講習を修了していることが望ましい。インターネット等を利用し心肺蘇生法の情報を収集する。◎[子ども・健康・教育(保育)・スポーツ全般・福祉]等をキーワードに、新聞・雑誌&インターネット等を利用し情報収集を行い、自身の身の回りの状況に目を向ける。	55分
第12回	テーマ 内容	胸骨圧迫をメインとした心肺蘇生法の実践トレーニング（体育理論2.5&体育実技）(グループワーク)	
	授業外学習	◎各自事前に心肺蘇生における各関係団体の実施している講習を修了していることが望ましい。インターネット等を利用し心肺蘇生法の情報を収集する。◎[子ども・健康・教育(保育)・スポーツ全般・福祉]等をキーワードに、新聞・雑誌&インターネット等を利用し情報を収集を行い、自身の身の回りの状況に目を向ける。	55分
第13回	テーマ 内容	心肺蘇生法の知識・技術の振り返りを行い、理解の到達度を評価し更に探求する（体育理論3.5）	
	授業外学習	◎各自事前に心肺蘇生における各関係団体の実施している講習を修了していることが望ましい。インターネット等を利用し心肺蘇生法の情報を収集する。◎[子ども・健康・教育(保育)・スポーツ全般・福祉]等をキーワードに、新聞・雑誌&インターネット等を利用し情報を収集を行い、自身の身の回りの状況に目を向ける。	55分

課題に対するフィードバックの方法

- ◎学生から寄せられた質問や感想等は、必要に応じて授業中に全学生に対しその内容を伝え解説を加える等の対応を行っている。
- ◎授業内課題およびレポート等は、翌週以降にコメントを付けて返却する。
- ◎理解を深める為に勉強会等を開催している。

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名 科目ナンバー	体育理論・体育実技 I-2-2		教員氏名	中山 恭一	
学年	2年		開講学期	後期	
授業形態	演習		単位数	2単位	
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	中学・高等学校講師(保健体育科)養護施設指導員 特別支援学校講師・全日制普通高等学校肢体不自由児介助	12年
テーマ	現代社会の健康観を学ぶと共に、健康寿命を延ばすことに寄与すると思われる運動方法について理解を深める				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。 2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。 3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				○
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			○
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			
授業の概要	<p>「体育理論」では、健康、体力に関する概念を把握し、生涯に渡って自ら健康寿命の延伸に寄与する取り組みが行えるための「最新のスポーツ科学の知見」について学ぶ。</p> <p>・実技と並行し、アクティブ・ラーニングの取り組みとして、google classroomを利用し、学生各自で作成した運動プログラムを日々実践し、週単位で振り返り自己評価を行う。これを後期期間中繰り返すことが出来るよう援助を行う。また日頃から「ダイエットアプリ」「フィンク」(無料)や「食事管理アプリ」「あすけん」(無料)等を積極的に活用し、栄養&運動&休息等のサポートを受け、各自のコンディションを把握・分析し、日常生活に活かせるような取り組みを実施します。そして、授業テーマとして、これらを資料とし科学的根拠を基に自身の取り組みを振り返り、日常生活に活かす工夫を考えまとめていけるよう働きかける。</p> <p>・「体育実技」では、自分の体力を把握するとともに、グループワークやディスカッションを取り入れてスポーツを楽しみ、学生自らが基礎体力を養える援助をおこなう。</p>				
授業の到達目標	<p>1.健康寿命の延伸に寄与する生活習慣の改善と同時に、WHO(世界保健機関)が提唱している「Active Living(生き生きとした生活を!)」を、自ら設計・実践できる。</p> <p>2.運動やスポーツを通して自己体力の現況を認識し、またお互いを認め合いコミュニケーションスキルを高め合いながら、心もからだも良い状態に維持・向上させる習慣を実践できる。</p> <p>3.自分の健康を育むと同時に、他者の健康も守れるための知識を説明できる。</p>				
テキスト	なし 適時配布する				
参考書	<p>「幼少年のための運動遊び・体育指導」一般社団法人幼少年体育指導士会編 杏林書院、「脳を鍛えるには運動しかない」ジョン・レイティ著 NHK出版、「発達障害の子の脳をきたえる 笑顔はじけるスパーク運動療育」清水貴子著 ジョン・レイティ監修 小学館、「子どものからだ・心白書」子どものからだと心・連絡会議 ブックハウスHD、「ダイエットアプリ」「FiNC(フィンク)」無料、「食事管理アプリ」「あすけん」無料</p>				
往還型授業(双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				○
	ICT(ゲーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
その他: 特記事項なし					
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験・筆記試験	0	定期試験は実施しない		
	授業内課題・発表等	100	「体育理論」理解度確認(授業テーマ:各自の主体的な活動を通して、後期期間中にスポーツ(身体活動;運動プログラム)を通して、それぞれの心身の変化を科学的根拠を基に分析し、自身の日常生活に活かす工夫につなげていく):80%、「体育実技」課題達成(毎回の確認テストを実施:各自が到達目標を意識し取り組んでいるか):60%		
	参加度・学習態度等		「体育理論」授業取り組み(課題の理解および主体的に学ぶ姿勢):20%、「体育実技」授業取り組み(授業に臨む準備が良好であるか、コミュニケーションを取りながら行われているか等):40%		
その他	0	◎半期毎に上記の基準で評価を行う。*(1)体育実技の際、見学などの理由で実技に参加しなかった場合は失点の対象になる。*(2)体育実技の服装はスポーツウエア・靴は運動用に限定し、それ以外の着用は安全上の観点から参加を認めない。*(3)通年として実技及び理論それぞれの出席回数が2/3に満たない場合、失格となる。*(4)授業前は十分な睡眠と適切な食事をとり、体調管理に努めること。			
再試験	行う	行わない場合の理由			

授業概要と課題			
第1回	テーマ 内容	授業概要についてのガイダンス、「スポーツマンシップについて」	
	授業外学習	◎{子ども・健康・教育(保育)・スポーツ全般・福祉}等をキーワードに、新聞・雑誌&インターネット等を利用し情報を収集を行い、自身の身の回りの状況に目を向ける。 ◎「スポーツ」・「スポーツマン」・「スポーツマンシップ」をキーワードに、各自それぞれ考えをまとめておく。	55分
第2回	テーマ 内容	身体活動が脳と心とからだに及ぼす影響1.「実践例」(体育理論4.5)	
	授業外学習	◎{子ども・健康・教育(保育)・スポーツ全般・福祉}等をキーワードに、新聞・雑誌&インターネット等を利用し情報を収集を行い、自身の身の回りの状況に目を向ける。	55分
第3回	テーマ 内容	身体活動が脳と心とからだに及ぼす影響2.「脳の各機能について:理論編」(体育理論5.5)	
	授業外学習	◎YouTube「すべての子どもの脳を鍛え可能性を高める」vol.2~4, YouTube「8. 脳科学(SPARK)運動が良い状態にして強い脳神経回路をつくる」を視聴しポイントを整理する。	55分
第4回	テーマ 内容	身体活動が脳と心とからだに及ぼす影響3.「身体活動を通じた発達障がい児への発達支援:応用編」(体育理論6.5)	
	授業外学習	◎スパーク協会(一般社団法人日本運動療育協会)HPを読み取る。 ☆より理解を深めたい方: ◎「発達障害とスパーク運動療育が分かる!動画講座スタート!」(無料);スパーク協会(一般社団法人日本運動療育協会)HPを視聴する。	55分
第5回	テーマ 内容	バレーボール1. 個人技術の確認と発展 (グループワーク)	
	授業外学習	◎スパイク・アンダーハンドパス・サーブ・ブロック等の基礎技術、セッター・リベロ等の各ポジションの役割を探る。◎バレーボールのルールを確認し、試合映像を鑑賞する。◎[ダイエットアプリ「フィンク」(無料)]や[食事管理アプリ「あすけん」(無料)]等を積極的に活用し、栄養&運動&休息等のサポートを受け、日常生活及び授業において身体を良好な状態にして臨む。◎学生各自で作成した運動プログラムを日々実践し、自己評価を行う。	90分
第6回	テーマ 内容	バレーボール2. 4人対4人・5人対5人のミニゲーム:コミュニケーションスキルを上げ、基礎技術の理解・気付きから習得へと発展させ、ゲームスキルに活かす (グループワーク)	
	授業外学習	◎各個人&各チーム毎の課題を見付け出し取り組む。◎バレーボールの試合映像を鑑賞する。◎バレーボールのルールを確認し、試合映像を鑑賞する。◎[ダイエットアプリ「フィンク」(無料)]や[食事管理アプリ「あすけん」(無料)]等を積極的に活用し、栄養&運動&休息等のサポートを受け、日常生活及び授業において身体を良好な状態にして臨む。◎学生各自で作成した運動プログラムを日々実践し、自己評価を行う。◎学生各自で作成した運動プログラムを日々実践し、自己評価を行う。	90分
第7回	テーマ 内容	バレーボール3. 6人対6人の簡易ゲーム:コミュニケーションスキルを上げ、ゲーム戦術を理解し、ゲームスキルを向上させる (グループワーク)	
	授業外学習	◎各個人&各チーム毎の課題を見付け出し取り組む。◎バレーボールの試合映像を鑑賞する。◎アプリ「FINC(フィンク):無料」等を活用し栄養&運動&休息等のサポートを受け、日常生活及び授業において身体を良好な状態にして臨む。◎学生各自で作成した運動プログラムを日々実践し、自己評価を行う。	90分
第8回	テーマ 内容	バレーボール4. 6人対6人のゲーム:リーグ戦[コミュニケーションスキル&ゲームスキルを上げ、各チームで工夫し協力してチームの戦術を完成させゲームに臨む] (グループワーク)	
	授業外学習	◎生涯スポーツに発展する手立てを担うことをねらいとしている。◎バレーボールの試合映像を鑑賞する。◎バレーボールのルールを確認し、試合映像を鑑賞する。◎[ダイエットアプリ「フィンク」(無料)]や[食事管理アプリ「あすけん」(無料)]等を積極的に活用し、栄養&運動&休息等のサポートを受け、日常生活及び授業において身体を良好な状態にして臨む。◎学生各自で作成した運動プログラムを日々実践し、自己評価を行う。	90分
第9回	テーマ 内容	バドミントン1. 基本技能の確認:ハイクリアー・ドロップ・ヘアピン・スマッシュ・サーブ等) (グループワーク)	
	授業外学習	◎バドミントンの試合映像を鑑賞する。◎バドミントンのルールを事前に理解しておく。◎各個人の課題を見付け出し取り組む。◎バレーボールのルールを確認し、試合映像を鑑賞する。◎[ダイエットアプリ「フィンク」(無料)]や[食事管理アプリ「あすけん」(無料)]等を積極的に活用し、栄養&運動&休息等のサポートを受け、日常生活及び授業において身体を良好な状態にして臨む。◎学生各自で作成した運動プログラムを日々実践し、自己評価を行う。	90分

第10回	テーマ 内容	バドミントン2. シングルのゲーム戦術&理解 (グループワーク)	
	授業外学習	◎バドミントンの試合映像を鑑賞する。◎各個人の課題を見付け出し取り組む。◎パレーボールのルールを確認し、試合映像を鑑賞する。◎[ダイエットアプリ「フィンク」(無料)]や[食事管理アプリ「あすけん」(無料)]等を積極的に活用し、栄養&運動&休息等のサポートを受け、日常生活及び授業において身体を良好な状態にして臨む。◎学生各自で作成した運動プログラムを日々実践し、自己評価を行う。	90分
第11回	テーマ 内容	バドミントン3. ダブルスのゲーム戦術&理解 (グループワーク)	
	授業外学習	◎バドミントンの試合映像を鑑賞する。◎各個人の課題を見付け出し取り組む。	90分
第12回	テーマ 内容	バドミントン4. 実際のルールに則したゲームを楽しむ:ダブルス (グループワーク)	
	授業外学習	◎生涯スポーツに発展する手立てを担うことをねらいとしている。◎バドミントンの試合映像を鑑賞する。◎各個人の課題を見付け出し取り組む。	90分
第13回	テーマ 内容	ゆるスポーツ系創作運動あそび (グループワーク)	
	授業外学習	◎事前に「世界ゆるスポーツ協会」のHPを参照し《ゆるスポーツ》のスタンスを理解しておく。	90分

課題に対するフィードバックの方法

- ◎学生から寄せられた質問や感想等は、必要に応じて授業中に全学生に対しその内容を伝え解説を加える等の対応を行っている。
- ◎授業内課題およびレポート等は、翌週以降にコメントを付けて返却する。
- ◎理解を深める為に勉強会等を開催している。

2026年度 和泉短期大学 シラバス【児童福祉学科】

授業科目名	体育理論・体育実技		教員氏名	高木 由起子	
科目ナンバー	I-2-2				
学年	2年		開講学期	後期	
授業形態	0		単位数	2単位	
必修・選択	保育士・幼免必修		実務経験	高等学校非常勤講師(保健体育科)	4年
テーマ	各自が生涯心身ともに健康であるために運動習慣を身につけるとともに、現代社会における児童生徒の実態を理解				
ディプロマポリシー	1.保育・福祉に関する基礎的な学修を通して、幅広い教養を身に付け、多様な人々を支える社会の理念・仕組みについての原理を理解している。				○
	2.保育・福祉の専門的な知識・技能を修得し、思考力、判断力、表現力、コミュニケーション力を身に付けている。				○
	3.保育・福祉の専門職として多世代にわたる人々の権利を護り、愛と奉仕の精神を実践できる。				
カリキュラムポリシー	科目群Ⅰ 教養	キリスト教主義の精神を踏まえて、保育と人権にかかわる人としての価値観を再構築する			
	科目群Ⅱ 原理	様々な世代を支える社会の理念・仕組みについての学びを通して、愛と奉仕に基づく人間観を養う			
	科目群Ⅲ 知識・技能	子どもの心と体とそれを取り巻く環境を知り、共に成長するための様々な支援の内容と方法に関する専門的な知識と技能を身につける			○
	科目群Ⅳ 実践	学んだ知識、技能、価値観を現場に即して臨機応変に実践できる体験を積み、キャリア形成の基礎を培う			○
授業の概要	<p>・体育理論では、各自が生涯の健康と考える時、月経の正しい知識を身につけるとともに性の多様性についても知識を深める学ぶこと。また、障害のある無しに関わらず、障害者への理解や現場での工夫について学ぶ。</p> <p>・体育実技では、自分の体力を把握するとともに、身近にある様々な用具を使い、グループワークやグループディスカッションを取り入れてスポーツを楽しむ、学生自らの基礎体力を養う。保育現場でも使えるような昔ながらの遊びから学生各自の体力の向上を目的に「ダブルタッチ」を取り入れる。</p> <p>・各時間の自身の取り組みを振り返り、日常生活や今後の現場で活かせる工夫を考え、レポートとしてまとめ理解する。</p>				
授業の到達目標	<p>1.健康であるためには「月経」「性の多様性」「障害」をキーワードに男女関係なく自身の体をよく知り理論を展開できる。</p> <p>2.運動やスポーツを通して自己体力の現状を把握し、お互いを認め合うコミュニケーションスキルを高め、ペアやグループ活動を積極的に参加することができる。</p> <p>3.自分の健康を育むと同時に、他者の健康も守るために知識と技能を理解し説明ができる。</p>				
テキスト	適宜配布する				
参考書	随時提示する				
往還型授業 (双方向授業)	授業内での疑問や、学びを進める中で生じた不明点を、対話を通じて授業内で明確にする				○
	リアクションペーパーを用いて授業内での疑問等を対話形式にて対応する				
	リアクションペーパーの内容やテーマをICTを用いて授業内で受講者全員に公開・共有し、往還的理解を深める				
	ICT(ゲーグルクラスルーム含む)を活用した課題提示・回収、アンケート等を実施する				○
	その他:				
成績評価方法	区分	割合(%)	内容		
	定期試験・筆記試験		定期試験をしない		
	授業内課題・発表等	100	体育実技:課題達成40% 体育理論:理解度確認・課題提出80%		
	参加度・学習態度等		体育実技:授業の取り組み60% 体育理論:授業の取り組み20%		
その他		①授業への遅刻・遅延、見学、授業へ臨む姿勢(服装、靴など)が欠けた場合は授業の出席から減点対象になる。②体育実技の服装はスポーツウエア、スウェットとし、靴は運動靴または各スポーツ種目のシューズに限定し、それ以下の着用は安全上の観点から参加を認めない。*③通年として実技・理論それぞれの出席回数が2/3に満たない場合、失格となる。*④授業前は十分な睡眠と適切な食事を摂り、体調管理に努めること。			
再試験	行わない	行わない場合の理由	成績評価は、授業への参加状況、課題提出、試験等を総合的に評価して行う。本授業では、授業内での学習活動や継続的な取り組みを重視しているため、再試験は実施しない。		

授業概要と課題

第1回	テーマ 内容	授業概要についてのガイダンス、自己紹介、アイスブレイク	
	授業外学習	授業概要についてのガイダンス、自己紹介、アイスブレイク 現代社会に生きる子どもの健康状態や生活環境に目を向け、新聞やインターネット等を利用し、情報の収集を行い、自身の身の回りの状況に目を向け自身の考えと比較する。	53分
第2回	テーマ 内容	体づくり運動:新聞紙等を使った運動	
	授業外学習	学習指導要領には「自分の体を十分に動かし、様々な動き(進んで運動)をしようとする」こと、 がねらいとしていることから、ここでは身近にあるものを使った運動を学生自身で運動プログラムを作成し、自己評価を行う。	55分
第3回	テーマ 内容	体づくり運動:昔ながらの遊びと運動	
	授業外学習	幼少期に行った昔ながらの運動を受け継ぐ必要があり、忘れかけていないか、昔に遊んだ記憶を辿りながら忘れかけている遊びをインターネット等を利用し、情報の収集を行い、自己評価を行う。	55分
第4回	テーマ 内容	体づくり運動:ボールを使った運動	
	授業外学習	「ボールを使う運動」とは何か、と考えるとスポーツが思い浮かぶのが一般的である。その思考を外し、ボールを使ってどんな運動ができるのか、書籍やインターネット等を利用し、情報の収集を行い、学生自身で運動プログラムを作成し、自己評価を行う。	55分
第5回	テーマ 内容	体づくり運動:ダブルダッチ① (グループワーク)	
	授業外学習	2本の縄を跳ぶスポーツであるため、事前に動画を見て縄に入るタイミングや縄から抜けるタイミングの情報の収集を行う。	55分
第6回	テーマ 内容	体づくり運動:ダブルダッチ② (グループワーク)	
	授業外学習	授業内で撮影した自身の動きと見本となりうる動画と見比べ、次回へ検討できるよう自己で評価・修正を行う。また、技においてもどんな技ならできるのか調べて情報の収集を行い、学生自身で運動プログラムを作成する。	55分
第7回	テーマ 内容	バドミントン①基本的動作	
	授業外学習	バドミンソンのラケットの基本的動作を身につけるとともに、多数のシャトルの軌道を読み打ち返すことができるようにする。また、コート内での基本動作を理解し、実践する。	55分
第8回	テーマ 内容	バドミントン②ゲーム (グループワーク)	
	授業外学習	この2時間で身につけた技術をゲームに活かす。総合的に自身で身につけられた部分と課題を見つけ、今後の運動やスポーツに役立てる。	55分
第9回	テーマ 内容	バレーボール①基本動作	
	授業外学習	この2時間で身につけた技術をゲームに活かす。総合的に自身で身につけられた部分と課題を見つけ、今後の運動やスポーツに役立てる。	55分

第10回	テーマ 内容	バレーボール②ゲーム (グループワーク)	
	授業外学習	身につけた技術をゲームに活かす。総合的に自身で身につけられた部分と課題を見つけ、今後の運動やスポーツに役立てる。	55分
第11回	テーマ 内容	女性の生理・妊娠・中絶・ピル・性感染症について理解を深める	
	授業外学習	女性の生理について振り返り、女性は自分自身の生活習慣を見直し、男性は今後のパートナーができたときに寄り添えるように、理解を深め実生活に活かす。妊娠や中絶、ピルの実態、性感染症について、改めて実態を把握し、理解をする。	55分
第12回	テーマ 内容	卵子凍結の実態について知る	
	授業外学習	「卵子凍結」は聞いたことがあると思うが、実際身近に感じるものではない。将来のことを考えていく中で、知っておくことも重要な用語である。そのため、どれだけ大変なことなのかを理解する。	55分
第13回	テーマ 内容	LGBTQ+、性暴力、性被害等について理解を深める。	
	授業外学習	近年、LGBTQ+の人たちが身近に感じてきている。用語を理解すると同時に、まずは「知る」ことから始める。性暴力、性被害についても社会問題化しているため、この点についても触れ、理解を深める。	55分

課題に対するフィードバックの方法

- ・学生から寄せられた質問や感想等は必要に応じて授業中に全学生に対してその内容を伝え解説を加える等の対応を行っていく。
- ・授業内課題及びレポート等は翌週以降にコメントをつけて返却する。
- ・理解を深めるために勉強会等を開催している。